

令和3年度 根室地区の研究活動

研修部長 中標津町立中標津小学校
校長 佐藤 玲子

1 はじめに

根室管内小中学校校長会は、1市4町の公立小中学校に所属する40名の会員で組織されている。年一回「根室管内小中学校校長会研究大会」を開催し、会員全員が会合し、会員相互の連携・協調のもと、当地区の児童生徒の「生きる力」を育む学校教育の推進や学校経営の向上に努めている。本年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、会合を中止とし、書面開催とした。

2 研究計画

(1) 研究の方針

- ①「生きる力」「知・徳・体」の調和の取れた豊かな人材育成を目指し、組織的に研究と修養に努める。
- ②道小、道中、管内校長会、根室管内市町教育委員会、根室教育局との連携を図る。

(2) 研究主題

「根室の風土を生かし、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ社会に開かれた学校教育の創造」

学校教育においては、教育基本法や学校教育法が目指す普遍的な教育の根幹を踏まえ、グローバル化の進展や人工知能の飛躍的な進化など、社会の加速度的な変化を受け止め、児童生徒に未来を作り出していくために必要な力を育む必要がある。また、新学習指導要領においては、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、連携協力しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現の大切さについても述べている。

このことを踏まえ、私たちは根室の地に刻まれた深い歴史と先人の志を継承し、生涯学習社会における学校教育の望ましい在り方を校長という立場から究明し、充実した学校経営を推進するために上記の研究主題を設定した。

本年度は、5か年の継続研究の2年次として、研究内容の共通理解を深め、諸課題の解決を目指す。また、全国・全道大会における提言や参加につながるよう研究協議を重視する。

(3) 活動計画

①根室管内小中学校校長研究大会の開催（会合中止）

- 会場 中標津町トーヨーグランドホテル
- 期日 令和3年8月25日（水）午前開催

これまで校長研究大会と地区教育経営研究大会を2日間で実施していたが、それぞれの大会の内容を精査し、本年度から1日日程で実施することとした。

②全道・全国研究大会への参加

- 全小連石川大会（誌上発表大会） : 令和3年10月14日～15日

- 道小石狩・千歳大会（オンライン開催）：令和3年9月10日～11日
- 全日中静岡大会（オンライン開催）：令和3年10月21日～22日
提言発表「カリキュラム・マネジメントの推進」
(中標津町立計根別学園：村上玄一郎校長)
- 道中稚内大会（オンライン開催）：令和3年9月24日～25日

3 研究活動の概要

(1) 分科会の構成

令和2年度より、道小は5領域13分科会、道中は5つの分科会で研究を推進している。根室管内小中学校長会では、これまで4つの分科会で充実した協議を行ってきたことから、今後も以下3点を踏まえて、「教育課題」・「組織・運営」・「指導・育成」・「教育課程」の4分科会を設定し考究する。

- ①小・中学校間で協働的な問題解決が図れるようにする
- ②道小・道中の研究領域や分科会の内容を網羅する
- ③全国・全道での提言発表との関連を図る

また、校長研究大会における各自のレポートを踏まえた研究協議の成果を全道・全国提言の基軸としているが、本年度は、COVID-19感染対策の観点から会合を中止し、紙面開催としたため、次年度以降の提言発表の資料となるレポートの充実を図る上で、2分科会に絞って実施することとした。

(2) 一人1レポートによる紙面交流

例年同様A41枚に、表面にはレポートを、裏面には学校経営方針概要（グランドデザイン等）を記載する。

第1分科会「教育課題」

家庭・地域や校種間における連携・協働の推進における校長の在り方

視点①地域や関係機関等との連携による学校経営の充実を目指した取組の推進

視点②教職員の意識改革、関係機関と連携した人材育成による指導力の向上を目指した取組の推進

研究内容（レポートのキーワード）

成長の連続性、学校段階等間の接続・連携、地域に根ざした教育力を活用した学習習慣の確立と充実

第2分科会「組織・運営」

学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の在り方

視点①学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織の構築

視点②活力ある運営を実現するための組織の活性化

研究内容（レポートのキーワード）

運営組織、組織の活性化、働き方、経営ビジョン、ワークライフバランス、意識改革、組織マネジメント

4 おわりに

昨年度は、COVID-19の感染の拡大から、計画していた研究大会や研修会はすべて中止でしたが、本年度は、様態を変えて研究・研修の推進を図った。どのような状況下にあっても、児童生徒の学びも校長自身の学びも止めることはできない。

学校教育の新たな時代の幕開けを認識し、校長としての職能向上及び教育課題の解決を目指して研究を深化させ、根室管内の充実した学校教育活動を推進していきたい。